



1951年12月7日 第3種郵便物認可

社会新報

号外

Social Democratic Party

発行所 社会民主党全国連合機関誌宣伝局
週刊(水曜日発行)千代田区永田町1-8-1
電話 03 (3592) 7515

発行日 2010年12月

社会民主党 藤沢総支部

〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13 藤沢共同ビル 1F
TEL 0466-25-5363 / FAX 0466-25-5319

来春の自治体議員選挙の予定候補者!!

藤沢市議会 (定数36名)

高橋 八一 社民党公認/現
藤本まさき 無所属/社民党推薦/新
脇 れい子 無所属/社民党推薦/新

神奈川県議会 藤沢選挙区 (定数5名)

植木ゆう子 ネット公認/社民党推薦/新

雇用 平和 人権 環境
をまもるために



2010年10月21日 ホテルオークラ東京にて

急速に進む少子高齢化によって、私たちをとりまく地域社会では医療・介護・福祉・年金・保育・教育などの分野で解決困難な様々な問題が生じています。自治体議員には、今まで以上に地域の現場で、市民の目線に立って、市民と共に考え、行動し、問題の解決に取り組むことが求められます。
今回の統一地方選で神奈川県議会・藤沢市議会に挑戦する四人の予定候補者は、いずれも人格・見識・情熱を兼ね備えた候補者として自信を持って推薦できる人たちです。全員の当選を目指して、私も全力をあげて応援したいと思います。

(社民党衆議院議員 あべともこ)

社民党藤沢は 来春の自治体議員選挙に向けて 公認・推薦の候補者を決めました

藤沢市議会議員として2期・7年が過ぎました。この間、毎議会一般質問を行い、平和、環境、福祉、子育て問題などに力を入れてきました。地域活動では、毎年開戦、終戦の日に市民と一緒に平和のアピールを行って来ました。また、多様な子育て支援をめざし、藤沢市で初のNPO法人立の認可保育園を立ち上げ、一時保育や病後児保育も行っています。保育園をつくる過程から、県と市、両方に関わるものが多く大変煩雑であることがわかり、パイプ役が必要なことを痛感しました。

今後は市議時代の経験を生かし、地域の福祉、環境問題に取り組むとともに、若者の就労支援のためのサポートステーションの設置や労働教育の充実、養護学校の分教室の拡充などの教育問題、基地の縮小と市民の安全にも取り組んでいきたいと考えます。

また、県議会が市民にとって身近な県議会となるように議会改革を進めます。誰もが暮らしやすい街になるよう、神奈川県議選に挑戦することを決意しました。

1954年・東京都生まれ、1976年・武蔵野音大声楽学科卒、2004年・藤沢市議会議員2期現在に至る。現在・NPO法人子ども未来じゅく理事。NPO法人MOMO 理事。辻堂在住



植木ゆう子

神奈川県議会 藤沢選挙区
予定候補/社民党推薦/新



やいち 高橋 八一

藤沢市議会予定候補
社民党公認/現

1995年に(故)中山五福議員の後継者として藤沢市議会に議席をいただいてから早くも16年が経過しようとしています。

精神的にも肉体的にも健康で暮らしていくために、行政は“予防”の面にもっと力をそそぐべきと考えましたので、議員活動もその方向で様々なことに取り組んできました。その1つが目久尻川に遊歩道をとの提案でした。1997年からスタートしたこの活動も、チップ材を道路に使用することから休憩所“川の駅”の建設、ふれ愛広場の設置と拡大し、健康増進に大いに役立っていると自負しています。これからも“地域力”“市民力”を生かした活動を先頭に立って進めて行こうと思っています。

党活動については、社会民主党南関東ブロック事務局長、県連合幹事長、藤沢総支部代表の任にありますし、党自治体議員団全国会議の幹事長も担当しています。

これからも健康で暮らして行ける社会づくりに向けて頑張りますので、よろしくお願い致します。

1947年1月 高座郡御所見村用田生まれ
1965年3月 現在の湘南工科大学付属高等学校卒業
1965年8月 神奈川県企業庁水道局寒川浄水場に採用
1969年から1991まで自治労運動に専念
1995年 藤沢市議に初当選、以来連続4期



藤本まさき

藤沢市議会予定候補
社民党推薦/新



私、藤本まさきは前回の市議選挙で社民党の推薦を頂きましたが、力及ばず落選しました。その後あべともこ衆議院議員の秘書として3年間勉強してきました。その中で今の市政において、たくさん問題があると感じております。●善行の土地取得問題に代表される土地開発公社の土地取引に見られる問題。●一部セクター事業などに見られる巨額の赤字を放置している一方で、事業仕分けにおいてたくさんの福祉予算が削られてしまう問題。●武田薬品新研究所の安全対策が不十分な状態。●米軍戦闘機の違法爆音が一方向に解消されない事など…

上記はほんの一例ですが、税金の使い方がしっかりチェックできていない事や、市民の命の安全、安心がおろそかになっている事に大きな危機感を感じます。

私はあべ議員の秘書としての経験を活かして、市税の使い方をしっかりとチェックし、出来る限りの安全対策を提案し、市民の命の安全、安心をしっかり守っていただける議員になりたいです。よろしくお願い致します。

1974年藤沢市生まれ。辻堂育ち。神奈川大学第二経済学部に進学して経済学の勉強をする中、22歳の時に一念発起し、地元辻堂駅北口の辻堂新町商店街にてコンビニエンスストアの店長を10年間務める。

前回2007年統一地方選では1,963票の支援を頂くも惜しくも落選。現在あべともこ衆議院議員秘書、厚木基地爆音防止期成同盟の一員。



わき 脇 れい子

藤沢市議会予定候補
社民党推薦/新



赤ちゃんからおとしよりまで、障がいのある人もないひとも、あらゆる人が安心してらせる藤沢でなければなりません。

貧困や格差が進むなかで、そのしわ寄せは女性、子ども、高齢者、障がい者、外国籍市民など、いわゆる社会的弱者に向けられています。生存権が脅かされるような状況はあってはならないことです。限られた税金は、そこに住んでいるすべての人が、明るくイキイキとくらすために、福祉、教育を第一に考えて配分するよう求めていきます。そして、あらゆる人々の人権を大事にするまちづくりをめざします。そのためには、当事者の視点から何が重要か、まずそのことを考えて、行動していきます。そしてよくわかる市政、見える市政をめざすことをお約束します。

みなさんと手を携えて頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

1957年辻堂生まれ。日本女子大学文学部史学科卒。社団法人神奈川人権センター事務局、I(71)女性会議神奈川県本部事務局長、NPO法人かながわ女性会議常任委員。辻堂在住

